

HOW TO USE

## パンフレットの使い方

下記QRコードをスマートフォンの  
カメラで撮影

読み取り画面が立ち上がる

カメラマークのページを撮影



被写体認識基盤サービス対応

そのままプロジェクト紹介ページへ

詳細情報を確認することができます。



被写体認識基盤サービスとは？

スマートフォン・タブレットが捉えた画像や文字情報を認識し、  
画像に付随するアクション情報を提供するクラウドサービスです。

PROJECT STORY 01

## 過去と未来を繋ぐ、 新しい地域活性化。

被写体認識基盤サービス

瑞穂町図書館様 瑞穂町郷土資料館けやき館様

東京都西多摩郡瑞穂町が運営する瑞穂町郷土資料館「けやき館」。この館内ホールの床面には、「バーズアイ瑞穂」と呼ばれる街全域を写した航空写真が展示されている。ここに「被写体認識基盤サービス」を導入することで、同町が運営する瑞穂町図書館のデジタルアーカイブ資料を融合した。スマートフォンやタブレットで床面の航空写真を撮影すると、デジタルアーカイブ化された資料に紐付き、端末画面でより詳細な情報を閲覧することができる。二次元コードのようなマーカを必要としないため、その他の常設展示物にも応用可能。手軽に利用できることが受け、来館者数の増加に繋がった。新しい情報発信の手段として、地域活性化を実現した。

→ 詳細は新卒採用サイト プロジェクト紹介へ  
写真を撮って詳しく知ろう



被写体認識基盤サービス対応

PROJECT STORY 02

## 離院の危険を防ぎ、 監視の負担を軽減。

顔認証システム「NeoFace」

医療法人社団永生会 永生病院様

高次脳機能障害や認知症などの患者さまが、医師の許可なく無断で外出してしまう「無断離院」は、医療機関が長年頭を悩ませてきた重大な問題だ。患者さまが誰にも気付かれることなく外出をしてしまうと、ものの5分でその行方は分からなくなってしまふ。大きな事故に繋がりがねないこの問題を解決するため、永生病院では「顔認証システム」を導入した。病院のエントランスにカメラを設置し、対象とする患者さまがそこを通れば、世界最高レベルの顔認証技術がすばやく顔を認識。アラームがなり、パトライトが点灯することで、無断離院を未然に防ぐ仕組みだ。医療現場の高い安全性を確保しつつ、病院職員の監視負担の軽減にも貢献した。

→ 詳細は新卒採用サイト プロジェクト紹介へ  
写真を撮って詳しく知ろう



被写体認識基盤サービス対応